

令和四年度 入学式

式辞

春の暖かさが感じられる今日の良き日に、晴れて入学式を迎えられました第七十六期生 百三十六名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そして、中学校の制服に身を包み、成長した我が子の姿を、まのあたりにされた保護者の皆様方におかれましては、感慨もひとしおのことと思います。本日は誠におめでとうございます。

全国の学校園が一斉に臨時休業となって3度目の春となりましたが、新型コロナウイルス感染症は未だ収束しておらず、感染拡大防止のため、大阪市立のすべての学校園において、来賓・地域の皆様方の参加がない中での『入学式』となっています。そのような状況ではありますが、昨年度、本校においては臨時休業対応となることは殆どなく、4月・5月の行事の延期はあったものの、ほぼ通常に近い形で教育活動を行うことができました。新入生の皆さんにとっては、『WITH コロナ(コロナと共に)』という時代の中ではありますが、ワクワク・ドキドキの気持ちを持って中学生としての素晴らしいスタートが切れるこころから願っています。

さて、新入生の皆さんには、今日から七十三年の歴史と伝統のある北稜中学校の一員となります。中学生としての自覚と誇りを持って、これから3年間、しっかりと頑張ってほしいと思います。入学にあたり、勉強や部活動など、不安に思っていることもたくさんあると思いますが、まったく心配する必要はありません。今日の式に出席してくれている生徒会役員をはじめ、皆さんの先輩が、優しく出迎えてくれると思いますので、安心して学校へ登校してください。

先月2日に本校生徒会役員が中心となり、校区小学校へ『学校紹介』と『部活動紹介』の動画をオンラインで配信するという取組を行いました。その中の質問コーナーでは、当時6年生の皆さんから「中学校の先輩は優しいですか」「中学校の先生は面白いですか」「違う小学校の人とどうしたら友だちになれますか」といった質問があり、中学校へ入学することへの不安な気持ちを感じることができました。生徒会役員の先輩からも「何も心配する必要はありません」「安心して入学してください」という内容の話があつたように、北稜中学校では『みんなが安心して暮らせる優しさ溢れる学校』をめざしています。新入生の皆さんのが入学してくれたことで、さらに優しさの輪が広がっていくことを期待しています。

新入生の皆さん一人一人が持つ「秘められた力」を、発揮できる場として部活動があり、本校には8つの運動部と、6つの文化部があります。部活動の良さは、違う学年の先輩や後輩と、スポーツや文化的な取組を通じてつながれるということです。また、技能や能力を伸ばすだけでなく、部活動を通して「礼

儀」や「マナー」が学べることなど、将来の皆さんにとって素晴らしい財産になると思います。ぜひとも、中学生の時期に、部活動もその一つではありますが、何か打ち込めるものを見つけて、人間としてさらに大きく成長してほしいと思っています。

次に新入生の皆さんに実行してもらいたいことを一点お話しします。それは基本的な生活習慣を、きちんと身に付けておくということです。例えば、常に時間を守るよう心がけてほしいと思います。北稲中学校では、『ノーチャイム週間』という取組が、毎月行われています。『ノーチャイム週間』の時には、学校ではチャイムが鳴りませんが、皆さんの先輩は、教室や運動場、時には造幣局の建物にある時計を見ながら、チャイムがならなくても問題なく行動ができます。今、お話ししたことは一例ですが、学校のルールやマナーを守ること、また、気持ちの良い挨拶が交わせられることなど、当たり前のことだが、当たり前にできることは、とても大切なことだと考えています。

私は校長として3年間、皆さんの先輩の姿を見てきましたが、生活面にしても、学習面にても、学校行事の取組にしても、部活動にても、あらゆる面で褒めることができます。私は、本当に嬉しく思い、北稲中学校のことを誇りに思っています。これからの中学校生活の中で、皆さんの先輩が、良い見本をたくさん示してくれると思いますので、皆さんにも北稲中学校の良き伝統を引き継いでほしいと願っています。

結びになりましたが、本日、入学された新入生の皆さん、保護者の皆様。北稲中学校の教職員・在校生一同、心よりご入学を歓迎いたします。そして、保護者の皆様・地域の方々にご協力をいただき、新入生の中学校生活がより素晴らしいものとなるよう、また、地域から愛される学校になりますよう、教職員一同、努力を惜しまないことをお約束して、式辞とさせていただきます。

令和四年四月五日

大阪市立北稲中学校 校長 山咲進